

## 「知能メカトロニクス分野と連携する知覚情報技術」特集

Perception information technology contributed to intelligent mechatronics field

2026年9月15日(火)～16日(水)に、「第31回知能メカトロニクスワークショップ」が、電気学会 電子・情報・システム部門 (C 部門) 知覚情報技術委員会 知能メカトロニクス専門委員会の主催により宮古島市中央公民館 (沖縄県宮古島市) で開催されます。この機会を捉え、論文誌 C (電子・情報・システム部門誌) では、2027年9月号に「知能メカトロニクス分野と連携する知覚情報技術」特集号を企画します。

本特集号では、下記のキーワードにかかわる知覚情報技術研究の成果を中心に広く募集した「第31回知能メカトロニクスワークショップ」での講演の中から電子・情報・システム部門誌にふさわしい研究発表をまとめて掲載します。発表された内容を、大会セッションにおける質疑やコメント等を参考に論文として完成させ、奮ってご投稿下さい。なお、本特集号の掲載に間に合う採録 (判定 A) の期限は、掲載号の3ヵ月前の月の10日頃 (2027年6月10日頃) となります。査読の都合により特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了解ください。投稿時には、「事務局への連絡」欄に第31回知能メカトロニクスワークショップでの講演番号を記載した書類 (フリーフォーム) をアップロードして下さい。

**キーワード:** メカトロニクス, ビジョン, センサ・センシング, 計測・検査, 人工知能, マイクロシステム, 生産, 医療・福祉, ロボット, ドローン, 環境, スマート農業, 感情・感性工学, 音, 信号処理, 知覚, クロスモダリティ, クロスリアリティ

**投稿締切:** 2026年10月26日 (月)

詳細は電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。

[https://www.iee.jp/pub/contribution\\_guide/](https://www.iee.jp/pub/contribution_guide/) から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

**投稿方法:** 投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://mc.manuscriptcentral.com/ieej> からご投稿下さい。

電子投稿・査読システムのトップメニューから『著者』を選択し、著者ダッシュボード画面において『投稿の開始』及び『電気学会論文誌C (電子・情報・システム部門誌)』を選択した上で、タイトルと要旨の記入、投稿種別で『論文』『研究開発レター』等、特集名で『「知能メカトロニクス分野と連携する知覚情報技術」特集』を選択して、『保存して進む』から原稿を提出して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

**ゲストエディタ/問合せ先:** 山下 淳

東京大学

〒277-8563 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

E-mail: [yamashita\(\)robot.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:yamashita()robot.t.u-tokyo.ac.jp)

※()⇒メール送信時に、()を@に変えて送信ください。

企画協力：知覚情報技術委員会